

どの子どもも楽しく、共に学び合う学校生活のために

小中学校では、全ての子どもが伸び伸びと充実した学校生活を送ることができるよう、日々いろいろな教育活動に取り組んでいます。

子どもにはそれぞれ個性があります。どの子どもも「分からなかったことが分かる」「できなかったことができる」ようになり、自分らしく学校生活を送るために、学校では一人一人の子どもに合わせた教育(特別支援教育)を進めています。

市内小中学校では、特別支援学級や「ことばの教室」、通級指導教室を設け、必要な支援が行えるように体制を整えています。校内にいる特別支援教育コーディネーターを中心として、保護者や医療・福祉などの関係機関と連携しながら、どの子どもも楽しく、友達と共に学び合う学校生活を送ることができるようになっています。

抱え込まずに、気軽に相談を専門家による「巡回相談」

「計算は得意、でも漢字だけが苦手」「友達付き合いがうまくいかない」「じっとしているのが苦手」「思い通りにならないとパニックになってしまう」「簡単なことのはずなのに、なかなかできない」「すぐカッとして、手や足が出てしまう」「会話のやりとりが苦手で、好きな話題になると一方的に話している」など、子ども本人が自分自身を責めたり、不安に感じたり悩んだりしていませんか。また集団内での子どもの様子を心配に思うことはありませんか。

旭市には、専門家による「巡回相談」というシステムが

あります。保護者から相談があり、巡回の希望があった場合には、複数の巡回相談員が該当する市内の保育所・幼稚園、小中学校などに出向き、子どもにとって必要な支援体制を話し合います。また保護者とも面談を行い、集団内での子どもの様子や、巡回相談での話し合いの内容などを伝えます。

子どもが集団生活を送っていく上で、心配なことがある場合は、気軽に相談してください。

巡回相談窓口

巡回相談ダイヤル(学校教育課指導班内・☎55-5726)

旭市特別支援教育講演会を開催します

漫画「光とともに……」のモデルで、自閉症児の地域での自立を目指して活躍している明石洋子さんによる講演会を開催します。

日時/8月19日(金) 午後2時～

場所/海上公民館

演題/「ありのままの子育て・自立への子育て～地域で生きること・私たちができること～」

※申し込み方法については、後日、市内の保育所・幼稚園、小中学校などを通じて案内します。

お子さんが、自分自身を責めたり、不安に感じたり、苦しんだりしていませんか。また、保護者の方が、集団内でのお子さんの様子を心配に思うことはありませんか。

旭市には、専門家による「巡回相談」というシステムがあります。巡回相談員は全6名で、複数(通称名)で市内幼稚園・保育所・保育所・小・中学校を巡回します。

お子さんが、幼稚園・保育所・保育所・小・中学校生活を送っていく上で心配なことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

電話 0479-55-5726
旭市教育委員会学校教育課 巡回相談 担当まで

巡回相談チラシ



23 校長リレーエッセイ



学校の還暦をみんなで祝いしよう

千瀧小学校長
佐瀬 史恵

本校は、昭和5年に海上郡旭尋常高等小学校千瀧分教場として開設され、昭和8年に分校となり、昭和31年旭市立千瀧小学校として独立しました。その独立から数えて、今年度で創立60年目を迎えます。

そこで今年度は、高学年の子どもたちが中心となり「地域の皆さんと一緒に学校の還暦をお祝いしよう」と、楽しい企画を考えています。「創立60周年記念プロジェクト」の実施です。

子どもたちから「学校だけでなく、家の人やお世話になっているボランティアの皆さん、地域の皆さんと一緒に祝いしたい」という意見が自然と出てくるのは、春のバザーや夏祭り、絆をつくろうスポーツ大会など、子どもたちが地域の行事に参加する中で、地域一丸となって汗を流し、労を惜しまず動いている大人たちの姿を見ているからだと思います。

また毎朝登校時、道路の要所に立ってくださっている交通安全ボランティアの皆さんや、道で会う地域の皆さんと交わす朝のあいさつから、子どもたちは、家族とは違う社会とのつながりを感じて学び、地域に見守られているという安心感を得ています。これは、学校教育目標の一つである「豊かな心と明るい社会性のある千瀧っ子」の育成につながっているようにも感じています。

今後も「地域に学び、地域と共に歩む千瀧小学校」の60年目の歴史を刻むべく、職員一同「チーム千瀧」を合言葉に、英知を集めて取り組んでまいります。